

2023 年度実績：リデュース率 22.1%、リサイクル率 69.5%

プラスチック容器包装の自主行動計画 2025 (第 4 次自主行動計画:2021-2025 年)に基づく、2023 年度のリデュース率、リサイクル率の実績を集計しました。

自主行動計画 2025 の目標と 2023 年度の結果は下表のとおり、リデュース率が 22.1%、リサイクル率が 69.5%となり、リデュース率は 2025 年度目標を達成し、リサイクル率も 2021 年度以後の計画期間目標を維持しました。

2023 年度のリデュース率は、前年実績を 2.4 ポイント上回り、累計リデュース量は前年累計量から 17,191 トン増加しました。なお、リデュース率は、プラ推進協議会加盟の団体会員の、それぞれの業種毎の実績を基に集計しました。

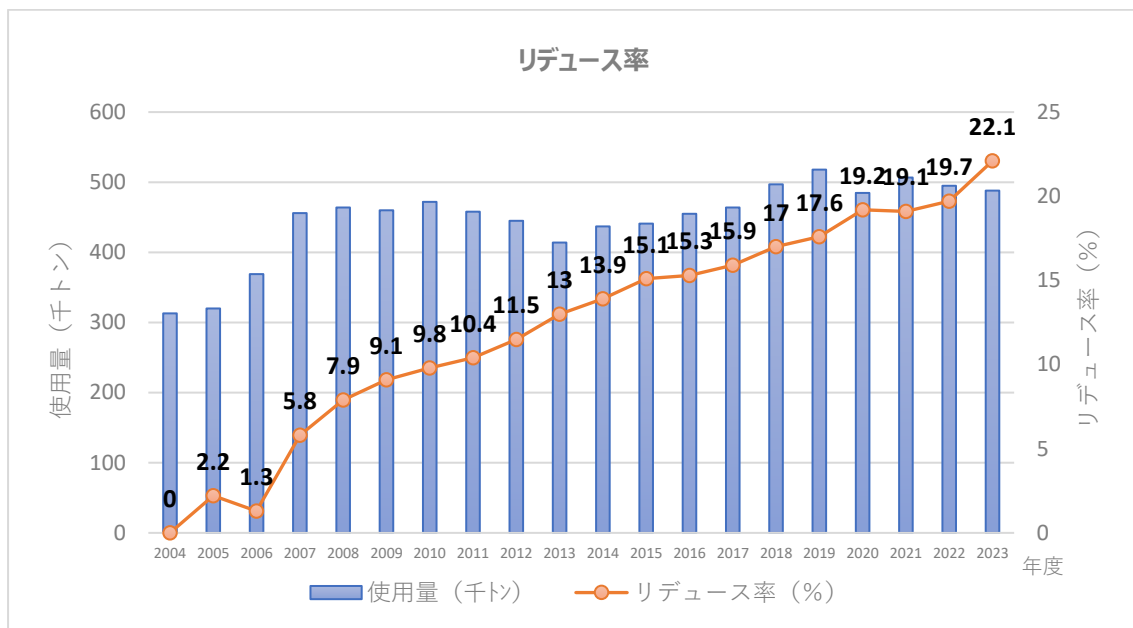
また、リサイクル率は 69.5% (リサイクル・再商品化量 493,256 トン) になり、リサイクル量は前年の実績から 1,311 トン減少し、493,256 トンになり、2025 年度まで 60%の期間目標を維持しました。

リサイクル率が増加したのは、市町村での収集量が減少し、容リ協会への市町村からの引取実績が減少しましたが、容リ協会の再商品化量 (リサイクル量) が前年なみとなったことが要因です。なお、事業者の自主回収量は、43,977 トンで前年から 1,148 トン減少しました。

なお、リサイクル率の計算方法を 2021 年度から変更しましたが、従来方法によるリサイクル率は 45.8%でした。

自主行動計画 2025 の目標と 2023 年度実績

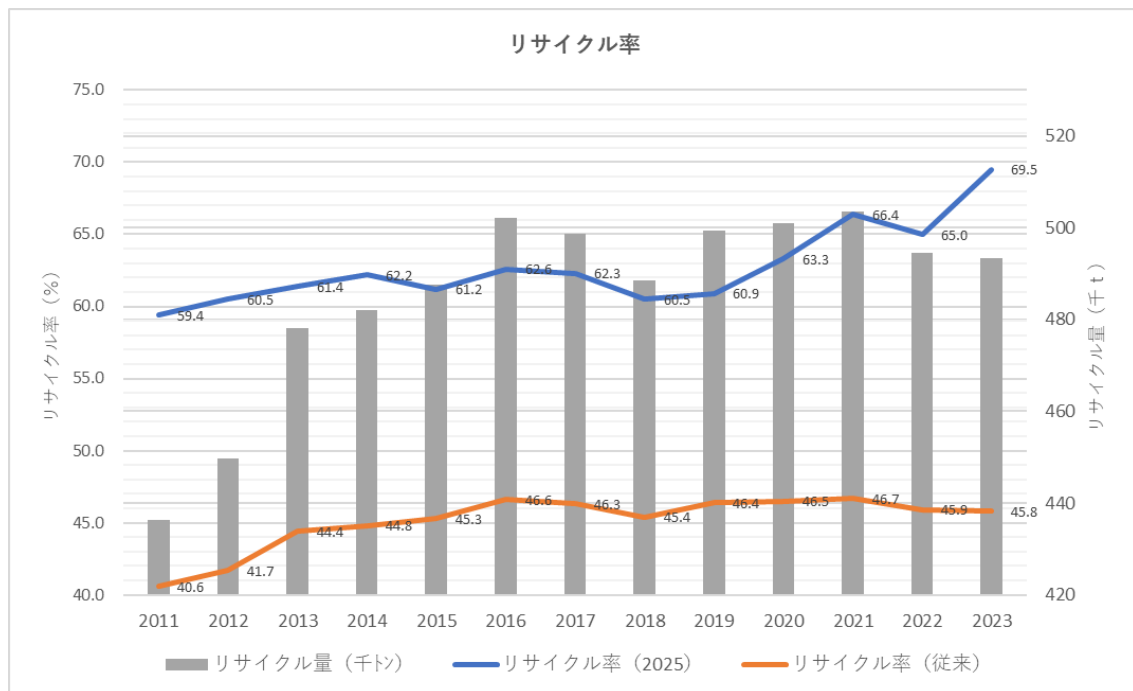
	2025 年度目標	2023 年度実績	
リデュース率	22.0% (累計)	22.1% (累計)	138,371 トン (累計)
リサイクル率	60.0%以上 (従来方法: 46.0%以上)	69.5% (45.8%)	493,256 トン



リデュース率 = A ÷ B

A : プラスチック容器包装累計リデュース量 (2005 年度から当該年度までの累計リデュース量)

B : プラスチック容器包装の当該年度推定使用量 (A + 当該年度のプラスチック容器包装使用量)



リサイクル率 = (C + D) ÷ (E + D)

C : 当該年度の再商品化量 ((公財) 日本容器包装リサイクル協会の当該年度の公表値)

D : 当該年度に特定事業者が自主的に回収・リサイクルした量

E : 当該年度市町村回収量 (リサイクル協会の当該年度の公表値)